

本校では、各学部で進路に関する取り組みをしています。今回は、それぞれの学部での取り組みをお知らせします。

A部門 小中学部の取り組み

A部門 小学部

小学部では、将来の豊かな生活に向けて学校生活全般を通して、基本的な生活習慣や人と関わる力など、自立のための基礎となる力を身に付けることができますようにしています。

「A高の校内実習を見学しました」



A小のこにこわくわくグループでは、生活の学習の一環として、10月9日と15日の2回、A高の校内実習の様子を見学しました。「校内実習とは、普段の学習と違い、仕事に関係のある特別な学習」という事前知識を持って、実習教室を訪問しました。9日は、割り箸の袋詰め作業を見学。服装をはじめ、衛生面に細かく気をつけながら作業に従事している先輩の、真剣で丁寧な作業態度、きびきびとした手つきや先生への報告の姿に、伝わってくる緊張感がありました。いつも気さくに声を掛けてくれる先輩の凛とした働く姿に、刺激を受けました。また、15日には、機械の解体作業を見学。複数のドライバーを使い分けながらネジを外し、難しい作業を次々とこなしていく先輩の様子に、見入っ

ていました。2回の見学を通して、「かっこよかった。」「上手にできていてすごかった。」「報告している姿がかっこよかった。」「先輩みたいになりたい。」「大きくなったらあんな仕事をしてみたい。」と、たくさんの感想が子どもたちから出てきました。「将来の自分」に目を向けるきっかけとなった、貴重な時間となりました。

A部門 中学部

中学部は、小学部で培った土台の力を、日々の学校生活の中で確実に定着できるように取り組んでいます。また、生産活動など実際に働く体験を通じて、就労への興味・関心を高める学習もしています。

Ⅲグループ 「紙すきをしよう」 (職業・家庭)



後期の職業・家庭の学習では、Ⅲグループ全員で紙すきをしています。2～4人の四つのグループに分かれ、それぞれのグループで協力しながら作業を担当します。紙の原料を作るグループでは、ジュースの紙パックのフィルムをはがしたり、紙を細かく破ったりしました。ミキサーのグループでは、細かくちぎった紙を受け取り、水と一緒にミキサーに入れて溶かす作業をします。次はその溶かした液を、型枠に流し込んで紙をすきます。最後のグループでは、すいた紙の水分を切ります。

それぞれのグループでは、できあがった物を次の作業のグループに引き継いでいきます。渡す時には「できました。」「お願いします。」「と一言手渡し、受け取る時には「分かりました。」「ありがとうございます。」「などの言葉を交わしながら、連携して紙を完成させていきます。言葉で伝えることが難しい生徒は、文字や絵のかかれたカードを使って伝えています。自分の担当した作業に集中して活動することも大事ですが、報告や依頼を伝えながら取り組むことも大切にしています。

自分たちで作った紙を使って花束を作り、交流している相手校の生徒や音楽ボランティアの方たちに贈りました。



B部門 小中学部の取り組み

B部門 小学部

小学部は、卒業後の豊かな生活に向けて土台づくりをする場です。学校生活全般を通して、基本的な生活習慣や人との関わる力など、自立のための基礎となる力を身に付けることができるようにしています。今年度の小学部の取り組みを紹介します。

【1年生】基本的な生活習慣の習得

1年生は場や人、活動など、新しい環境に慣れ、安心して生活できることを大切にしています。また、生活の基盤となる「あいさつ」「着替え」「身の回りの整理」「排泄」「集団活動のルール」などの習得を目指しています。個々の実態に合わせた手順表を活用したり、教師の促しを受け入れたりしながら、毎日繰り返し行うことで、一つ一つの力が着実に身に付くように取り組んでいます。



【3年生】確実な生活動作の習得

3年生は、今まで身に付けた生活動作を定着させ、少しずつスキルアップできることを目指しています。左右を確かめて、立った姿勢で靴を履く、所定の場所に荷物を片付ける等、一つずつ確認しながら行っています。給食では、教師の言葉掛けや視覚支援を活用し、食具を正しく使う、バランスよく食べる等を自分自身で意識しながら、マナーよく食事ができるように日々取り組んでいます。



B部門 中学部

中学部は、小学部で培った土台の上に、日々の学校生活の中で基本的な生活動作を身に付けたり、自分の気持ちを伝える力や主体的に任された役割を果たす力を育成したりしています。また、卒業後の進路を考える学習を通して、将来の豊かな生活、働くことへの興味・関心を高める学習にも取り組んでいます。

2年生では、ワークデイとして金属の仕分けに取り組みました。分ける金属を自分で決め、時間いっぱい取り組んだり、グループで取り組んだりしました。グループで取り組む時には、何に気をつけて作業をするか、誰が何を分けるかなど、目標や作業内容をグループで話し合いながら進めていきました。また、報告をする時の言葉を練習し、実習中は積極的に使うこともできました。手袋を使うことが難しい生徒はピンセットを利用したり、楽しく分けることができるよう、金属を仕分けする時に使う入れ物を自分で選んでその中に金属を入れたり、自分で分かって働くことを目指したワークデイになりました。



グループで取り組みました。



「できました」と報告しました。



時間いっぱい
取り組みました。

高等部 2学期の進路行事

高等部では AB 部門共同で行う進路行事を、年間計画を立てて行っています。今号では、その中から 2 学期に行った 2 つの進路行事をご紹介します。

卒業生から学ぶ会

高等部では「卒業生から学ぶ会」と題して、卒業生の進路先の仕事風景や、卒業生、上司の方のインタビューなどを撮影した動画を教材として進路について学習する取り組みを行っています。在校生は、事前学習で卒業生への質問を考え、動画をグループに分かれて視聴しました。在校生にとっては、自分たちの学校の先輩たちが社会人として活躍している姿を知ること、卒業後の進路を考える貴重な時間となりました。



○今回撮影させて頂いた進路先

種別	進路先事業所	作業および活動内容
一般就労	日東カस्टディアル・サービス (株)	ホテルの客室清掃業務
就労移行	カラズ・ラボ岡山	就労訓練 (オフィスなどの PC 技能訓練) など
A 型	なごみ	農場作業 (野菜の栽培、収穫、出荷準備) など
B 型	ゆいまーる	軽作業 (金属の仕分け、カードの仕分け、その他内職作業) など
生活介護	笑みの集い 15+ (ICHIGO PLUS) あおぞらやまびこ倶楽部	リサイクル作業、創作活動、余暇活動、散策など

企業担当者を招いた説明会

1 2 月 4 日 (水)、卒業後の進路として一般就労や就労継続支援 A 型事業所を考えている 1、2 年生の生徒・保護者を対象とした企業説明会を行いました。講師として四社の障害者雇用のご担当の方が来校して下さり、企業情報の説明や在学中に身に付けておきたい力などについて経験談を交えながらお話しくださいました。生徒たちは 4 つのブースを順番に回り、分かりやすい説明を聞いたり、資料を見たりしながらメモを取っていました。「質問はありませんか？」の問いかけに対して「勤務時間は何時から何時までですか」「社員旅行はありますか」など、手を挙げて積極的に質問をする姿も見られ、とても有意義な時間となりました。

日本通運 (株) 〈荷物の配送業務など〉	(株) ムラタコスモス 〈社内清掃業務など〉	(株) マツモトキヨシ 〈品出し、販売業務など〉	(株) トンボ 〈縫製業務など〉
			

